

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
181	M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M53 その他の脊柱障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.5 2022年1~9月累積: 5.6 最大減少幅: -15.2</p>
182	M54 背部痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M54 背部痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 10.0 2022年1~9月累積: 7.1 最大減少幅: -14.5</p>
183	M75 肩の傷害<損傷>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害<損傷> 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M75 肩の傷害<損傷> 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 19.8 2022年1~9月累積: 17.9 最大減少幅: -13.3</p>
184	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.2 2022年1~9月累積: 13.9 最大減少幅: -14.1</p>
185	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 14.1 2022年1~9月累積: 8.3 最大減少幅: -13.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
186	N18 慢性腎臓病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N18 慢性腎臓病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
187	N19 詳細不明の腎不全	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N19 詳細不明の腎不全 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
188	N20 腎結石及び尿管結石	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N20 腎結石及び尿管結石 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
189	N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N28 腎及び尿管のその他の障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
190	N30 膀胱炎	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N30 膀胱炎 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N30 膀胱炎 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
191	N32 その他の膀胱障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N32 その他の膀胱障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 21.3 2022年1~9月累積: 17.4 最大減少幅: -11.1</p>
192	N40 前立腺肥大(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N40 前立腺肥大(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 11.3 2022年1~9月累積: 10.6 最大減少幅: -9.9</p>
193	N76 膣及び外陰のその他の炎症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N76 膣及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N76 膣及び外陰のその他の炎症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 1.0 2022年1~9月累積: -3.6 最大減少幅: -17.7</p>
194	N80 子宮内膜症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N80 子宮内膜症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 51.6 2022年1~9月累積: 43.1 最大減少幅: -9.5</p>
195	N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): N86 子宮頸(部)のびらん及び外反(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.6 2022年1~9月累積: 1.4 最大減少幅: -22.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
196	N87 子宮頸(部)の異形成	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N87 子宮頸(部)の異形成 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
197	N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N92 過多月経, 頻発月経及び月経不順 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
198	N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N94 女性生殖器及び月経周期に関連する疼痛及びその他の病態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
199	N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N95 閉経期及びその他の閉経周辺期障害 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
200	N97 女性不妊症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):N97 女性不妊症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
201	O20 妊娠早期の出血	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O20 妊娠早期の出血 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -10.7 2022年1~9月累積: -12.3 最大減少幅: -17.4</p>
202	O21 過度の妊娠嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O21 過度の妊娠嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 24.2 2022年1~9月累積: 23.3 最大減少幅: -7.5</p>
203	O24 妊娠中の糖尿病	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O24 妊娠中の糖尿病 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.6 2022年1~9月累積: 6.5 最大減少幅: -5.5</p>
204	O60 切迫早産及び早産	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O60 切迫早産及び早産 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -9.4 2022年1~9月累積: -17.0 最大減少幅: -22.1</p>
205	O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.5 2022年1~9月累積: -5.1 最大減少幅: -14.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
206	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
207	Q21 心(臓) 中隔の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓) 中隔の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q21 心(臓) 中隔の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
208	Q25 大型動脈の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q25 大型動脈の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
209	Q61 のう<囊>胞性腎疾患	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう<囊>胞性腎疾患 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q61 のう<囊>胞性腎疾患 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
210	Q65 股関節部の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q65 股関節部の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
211	Q66 足の先天(性)変形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q66 足の先天(性)変形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
212	Q78 その他の骨軟骨異形成<形成異常>(症)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成<形成異常>(症) 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q78 その他の骨軟骨異形成<形成異常>(症) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
213	Q82 皮膚のその他の先天奇形	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q82 皮膚のその他の先天奇形 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
214	Q90 ダウン<Down>症候群	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン<Down>症候群 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Q90 ダウン<Down>症候群 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
215	R00 心拍の異常	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R00 心拍の異常 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
216	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
217	R10 腹痛及び骨盤痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R10 腹痛及び骨盤痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
218	R11 悪心及び嘔吐	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R11 悪心及び嘔吐 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
219	R25 異常不随意運動	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R25 異常不随意運動 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
220	R31 詳細不明の血尿	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R31 詳細不明の血尿 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
221	R42 めまい<眩暈> >感及びよろめき感	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R42 めまい<眩暈>感及びよろめき感 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.8 2022年1～9月累積: 12.4 最大減少幅: -16.9</p>
222	R50 その他の原因 による熱及び不明熱	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R50 その他の原因による熱及び不明熱 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 47.2 2022年1～9月累積: 83.9 最大減少幅: -67.5</p>
223	R51 頭痛	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.7 2022年1～9月累積: 32.2 最大減少幅: -23.4</p>
224	R52 疼痛, 他に分類 されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R52 疼痛, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 34.2 2022年1～9月累積: 29.1 最大減少幅: -9.2</p>
225	R53 倦怠(感)及び疲労	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R53 倦怠(感)及び疲労 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 33.4 2022年1～9月累積: 41.1 最大減少幅: -9.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
226	R60 浮腫, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R60 浮腫, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
227	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
228	R68 その他の全身症状及び徴候	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R68 その他の全身症状及び徴候 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
229	R73 血糖値上昇	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R73 血糖値上昇 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
230	S00 頭部の表在損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
231	S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S13 頸部の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 2.0 2022年1～9月累積: -2.7 最大減少幅: -18.2</p>
232	S42 肩及び上腕の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S42 肩及び上腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 6.9 2022年1～9月累積: 3.5 最大減少幅: -18.0</p>
233	S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S46 肩及び上腕の筋及び腱の損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 47.6 2022年1～9月累積: 40.0 最大減少幅: -1.9</p>
234	S52 前腕の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 7.8 2022年1～9月累積: 4.0 最大減少幅: -19.8</p>
235	S62 手首及び手の骨折	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S62 手首及び手の骨折 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 9.6 2022年1～9月累積: 1.8 最大減少幅: -42.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
236	S82 下腿の骨折, 足首を含む	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S82 下腿の骨折, 足首を含む 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
237	S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
238	S92 足の骨折, 足首を除く	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S92 足の骨折, 足首を除く 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
239	S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
240	T14 部位不明の損傷	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
241	T63 有毒動物との接触による毒作用	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: -16.3 2022年1~9月累積: -16.9 最大減少幅: -35.9</p>
242	T78 有害作用, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T78 有害作用, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 15.3 2022年1~9月累積: 9.5 最大減少幅: -30.6</p>
243	T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T80 輸液, 輸血及び治療用注射に続発する合併症 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 13.5 2022年1~9月累積: 5.1 最大減少幅: -4.0</p>
244	T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 32.5 2022年1~9月累積: 28.1 最大減少幅: -13.5</p>
245	Z33 妊娠中の女性	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 各年1~12月の推移(2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z33 妊娠中の女性 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 20.8 2022年1~9月累積: 7.9 最大減少幅: -10.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1~12月の推移図 (2015~2022年、月次)	対2019年同月比 (2020~2022年、月次)
246	Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 各年1~12月の推移 (2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z90 臓器の後天性欠損, 他に分類されないもの 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 24.1 2022年1~9月累積: 14.9 最大減少幅: -19.3</p>
247	Z93 人工的開口状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移 (2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 25.3 2022年1~9月累積: 18.1 最大減少幅: -14.0</p>
248	Z94 臓器及び組織の移植後の状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 各年1~12月の推移 (2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z94 臓器及び組織の移植後の状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 16.8 2022年1~9月累積: 6.4 最大減少幅: -15.3</p>
249	Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 各年1~12月の推移 (2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z95 心臓及び血管の挿入物及び移植片の存在 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 12.2 2022年1~9月累積: 9.7 最大減少幅: -9.5</p>
250	Z96 その他の機能性の挿入物の存在	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 各年1~12月の推移 (2015~2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z96 その他の機能性の挿入物の存在 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 22.8 2022年1~9月累積: 21.0 最大減少幅: -7.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
251	Z98 その他の術後状態	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p> <p>年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～12月、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): Z98 その他の術後状態 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月: 23.7 2022年1～9月累積: 20.5 最大減少幅: -12.2</p> <p>緊急事態宣言 1回目</p> <p>第3波 第5波 第6波 第7波</p> <p>2回目 3回目 4回目</p> <p>対2019年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1月～2022年9月、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
2	J45 喘息 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J45 喘息 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
3	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
4	J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
5	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
7	H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H10 結膜炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
8	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
9	J02 急性咽頭炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽頭炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J02 急性咽頭炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
10	J01 急性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J01 急性副鼻腔炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
12	J32 慢性副鼻腔炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J32 慢性副鼻腔炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
13	J00 急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
14	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H52 屈折及び調節の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
15	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
16	H61 その他の外耳障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H61 その他の外耳障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
17	H65 非化膿性中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H65 非化膿性中耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
18	B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B07 ウイルス(性)いぼ<疣><疣贅>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
19	J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J40 気管支炎, 急性又は慢性と明示されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
20	H60 外耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H60 外耳炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
21	T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T14 部位不明の損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
22	J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J10 その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
23	K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): K59 その他の腸の機能障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
24	L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
25	B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): B08 皮膚及び粘膜病変を特徴とするその他のウイルス感染症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
26	A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
27	T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
28	L01 膿か<痂>疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L01 膿か<痂>疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L01 膿か<痂>疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
29	J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J03 急性扁桃炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
30	R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
31	J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J11 インフルエンザ、インフルエンザウイルスが分離されないもの(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
32	R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
33	L29 そう<搔>痒症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう<搔>痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L29 そう<搔>痒症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
34	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
35	H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H01 眼瞼のその他の炎症(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
36	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F84 広汎性発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F84 広汎性発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
37	J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J31 慢性鼻炎, 鼻咽頭炎及び咽頭炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
38	L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡<アクネ>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡<アクネ>(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
39	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K29 胃炎及び十二指腸炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
40	J04 急性喉頭炎及び気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J04 急性喉頭炎及び気管炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
41	J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
42	L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L25 詳細不明の接触皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
43	L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
44	E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
45	H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H50 その他の斜視 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
46	T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): T63 有毒動物との接触による毒作用 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-20.6 2022年1～9月累積：-20.6 最大減少幅：-37.1</p>
47	H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H16 角膜炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：0.3 2022年1～9月累積：-2.8 最大減少幅：-46.7</p>
48	R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R51 頭痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：33.6 2022年1～9月累積：25.9 最大減少幅：-51.3</p>
49	H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H00 麦粒腫及びさん<霰>粒腫 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：4.8 2022年1～9月累積：1.1 最大減少幅：-28.4</p>
50	G40 てんかん (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：1.4 2022年1～9月累積：-5.1 最大減少幅：-28.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
51	F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F80 会話及び言語の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
52	R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
53	F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F90 多動性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
54	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
55	B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
56	L21 脂漏性皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L21 脂漏性皮膚炎(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:7.5 2022年1～9月累積:4.7 最大減少幅:-20.6</p>
57	H53 視覚障害(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):H53 視覚障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:9.1 2022年1～9月累積:10.1 最大減少幅:-42.0</p>
58	K12 口内炎及び関連病変(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):K12 口内炎及び関連病変(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-25.1 2022年1～9月累積:-30.6 最大減少幅:-55.3</p>
59	J46 喘息発作重積状態(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):J46 喘息発作重積状態(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:-38.5 2022年1～9月累積:-45.7 最大減少幅:-73.7</p>
60	S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):S93 足首及び足の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月:8.4 2022年1～9月累積:-2.0 最大減少幅:-67.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
61	R10 腹痛及び骨盤痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R10 腹痛及び骨盤痛(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
62	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害, 他に分類されないもの(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
63	L74 エクリン汗腺の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L74 エクリン汗腺の障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
64	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
65	F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):F82 運動機能の特異的発達障害(年齢階級:0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
66	S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S00 頭部の表在損傷 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
67	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
68	G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
69	H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H68 耳管炎及び耳管閉塞 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
70	J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J37 慢性喉頭炎及び慢性喉頭気管炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
71	H90 伝音及び感音難聴 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): H90 伝音及び感音難聴(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
72	J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
73	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
74	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
75	F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F98 小児<児童>期及び青年期に通常発症するその他の行動及び情緒の障害(年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
76	R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R44 一般感覚及び知覚に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
77	R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
78	S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): S52 前腕の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
79	G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
80	R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): R04 気道からの出血 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
81	M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M54 背部痛 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-1.4 2022年1～9月累積：-4.9 最大減少幅：-55.5</p>
82	Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q82 皮膚のその他の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：17.8 2022年1～9月累積：19.7 最大減少幅：-27.3</p>
83	M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M21 (四) 肢のその他の後天性変形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：8.2 2022年1～9月累積：2.0 最大減少幅：-42.2</p>
84	M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：6.5 2022年1～9月累積：0.0 最大減少幅：-52.9</p>
85	S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S01 頭部の開放創 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同期比(%)】 2022年6月：-8.8 2022年1～9月累積：-11.6 最大減少幅：-25.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
86	F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
87	B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B01 水痘 [鶏痘] (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
88	B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
89	Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
90	L28 慢性単純性苔せん<癬>及び痒疹 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん<癬>及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L28 慢性単純性苔せん<癬>及び痒疹 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
91	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
92	L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):L27 摂取物質による皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
93	B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):B35 皮膚糸状菌症 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
94	M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):M25 その他の関節障害, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
95	D22 メラニン細胞性母斑 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013):D22 メラニン細胞性母斑 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
96	K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K52 その他の非感染性胃腸炎及び非感染性大腸炎 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
97	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
98	F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : F89 詳細不明の心理的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
99	S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : S62 手首及び手の骨折 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>
100	E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : E34 その他の内分泌障害 (年齢階級：0～14歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
1	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-18.7 2022年1～9月累積：-21.1 最大減少幅：-44.9</p>
2	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-37.8 2022年1～9月累積：-23.3 最大減少幅：-73.9</p>
3	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-4.8 2022年1～9月累積：-6.3 最大減少幅：-30.6</p>
4	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-11.5 2022年1～9月累積：-12.5 最大減少幅：-48.0</p>
5	H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-1.9 2022年1～9月累積：-13.1 最大減少幅：-44.2</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
6	J20 急性気管支炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-49.9 2022年1～9月累積：-33.1 最大減少幅：-79.4</p>
7	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L30 その他の皮膚炎(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：12.7 2022年1～9月累積：9.5 最大減少幅：-11.9</p>
8	G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：25.8 2022年1～9月累積：21.2 最大減少幅：-8.6</p>
9	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：21.2 2022年1～9月累積：19.7 最大減少幅：-3.9</p>
10	F32 うつ病エピソード (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F32 うつ病エピソード(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移(2015～2022年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013): F32 うつ病エピソード(年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：28.7 2022年1～9月累積：24.4 最大減少幅：-7.8</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 外来延べ患者数 Top100 (年齢階級：15～39歳)

No	分類	各年1～12月の推移図 (2015～2022年、月次)	対2019年同月比 (2020～2022年、月次)
11	J45 喘息 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-26.1 2022年1～9月累積：-21.6 最大減少幅：-44.2</p>
12	J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : J02 急性咽喉炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-34.8 2022年1～9月累積：-10.7 最大減少幅：-73.2</p>
13	L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L70 ざ瘡<アクネ> (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：28.9 2022年1～9月累積：30.2 最大減少幅：-0.5</p>
14	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：-14.3 2022年1～9月累積：-20.7 最大減少幅：-55.1</p>
15	L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳)	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 各年1～12月の推移 (2015～2022年、月次)</p>	<p>[医科] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎 (年齢階級：15～39歳) 外来延べ患者数 対2019年同月比の推移</p> <p>【対2019年同月比(%)】 2022年6月：11.2 2022年1～9月累積：8.1 最大減少幅：-6.3</p>